



ふれあい市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

学生派遣団 セライナ市へ
～南あわじ市学生海外派遣事業～

7月24日から30日まで、国際姉妹都市であるアメリカ合衆国オハイオ州セライナ市への学生派遣団に同行してまいりました。この事業は、未来を担う中高生が、海外でのホームステイを通じて異なる生活習慣や文化を肌で感じ、国際感覚ある人材として育つ機会とすることを目的としています。

まず、経由地のニューヨークで初めて見るブロードウェイの華やかさに歓声を上げた学生達は、26日夕方に国内線でデイトン空港に到着。その日の夕刻、グランドレイクの湖畔に集合したホストファミリーによるウェルカムセレモニーが盛大に開催されました。学生たちは、初対面のホストファミリーに若干緊張した面持ちを見せたものの、これから始まるホームステイに皆、心を躍らせていました。中には、南淡町時の派遣団との交流の写真を持ってきて思い出を語ってくれた方もおり、この友好親善が積み重ねてきた歴史の重みと、人々の心の深いつながりをひしひしと感じました。

次の日の午前は工場見学。セライナ市には、オハイオ州にある自動車会社 HONDA の主要工場にエンジン部品等を供給する工場 (CAPT) が立地しています。日本

人の幹部もおられ、毎回、派遣団の見学を受け入れていただいています。派遣団合同の昼食、買い物の後、みんなでボーリング場へ。マイボールの持ちこみ、普通の靴でも大丈夫で、身近な遊戯という印象でした。一投すごとに上がる歓声とともに、大いに盛り上がりました。

夕刻、セライナ市役所で歓迎のセレモニー。ロビーには、だんじりや淡路人形の模型など当方からの贈り物がたくさん展示されており、ヘイゼル市長からは市の紋章が入った帽子と交流記念パネルをいただきました。私どもからは淡路人形座の法被と、マジョリカタイルをプレゼント。市長は法被を羽織っていただくなど、とても喜んでくれました。

セレモニーでは、本市の学生たちが「一期一会 A once in a lifetime encounter」と大書する書道パフォーマンスを堂々と披露すると、セライナの学生達が字の周囲にカラーペンでメッセージやイラストを描き、今回の訪問の友好の象徴ともいえる共同の大作が出来上がりました。

次の日、私は湖畔に建設中の別荘地の建築現場を視察する機会をいただきました。マジョリカタイルや瓦も使ってみみたいとの提案に、その意向を企業に伝え連絡すると応えました。

午後、郊外のホストファミリーのログハウスで、コースターづくりのあと、レイクフェスティバルの会場へ。珍しい水陸両用車で湖に突入し、夕方には打ちあがる花火を湖畔から鑑賞するなど、学生たちと共に楽しい時間を過ごすことができました。盛りだくさんの活動で歓迎してくれたセライナの皆さまに心より感謝申し上げます。

学生たちにとってこの経験が、未来に向かってはばたく希望の一步となることを期待しています。



協定を結んだB&G財団の菅原悟志理事長(左)と守本市長

その子に合った空間(場)を提供
子ども第三の居場所開設

市では「子ども第三の居場所(島のゆくりば)」を学ぶ楽しさ支援センターに開設しました。学校に馴染めない子どもたちがやるべきこと、挑戦し、自分らしさを発見するための支援を行います。子ども第三の居場所は全国で整備が進められており、淡路島では初開設です。

運営にあたっては、公益財団法人B&G財団から助成を受けており、8月1日助成決定書授与式および協定書調印式が行われました。業務は認定NPO法人ソーシャルデザインセンター淡路に委託し、安心して穏やかに成長できるよう子どもに合わせた柔軟な支援を実施しています。



新しい農業委員・農地利用最適化推進委員の皆さん

新しい農業委員・農地利用最適化推進委員が決定

新しい農業委員19人と農地利用最適化推進委員35人が決定しました。両委員とも任期は令和8年7月31日までの3年間です。また、農業委員会会長に宇山昭彦さん、会長職務代理者に三原賀代子さんが選出されました。

① 法令による審議(農地法3条・4条・5条申請等)
② 農地利用の最適化のための現場活動(地域計画策定への支援・農用地利用集積計画書利用権設定・農地等の賃貸借合意解約等)
※各担当地区等、詳しくは市ホームページをご覧ください
QRコード

子ども議会開催
小学生15人が質問や提案



まちづくりについて提案する子ども議員

8月3日、市議会議場で「第9回南あわじ市子ども議会」が行われました。市内の各小学校から代表に選ばれた6年生15人が子ども議員として、地域の活性化や公園の整備など各小学校で話し合った内容を提案し、市議会議員が答弁しました。詳しくは、10月31日発行の「議会だより」に掲載されます。

南あわじ市学生海外派遣団
アメリカ・セライナ市を訪問



セライナのホストファミリーと交流する学生海外派遣団員ら

南あわじ市学生海外派遣団が、南あわじ市と国際姉妹都市提携を結ぶアメリカ・オハイオ州セライナ市を訪問しました。澤田亜希子団長率いる派遣団に参加した学生は市内在住の中高生10人。7月26日から7日間、セライナ市のホストファミリーと交流を深めました。



吉備国際大学からのお知らせ

南あわじ市大学連携推進協議会を実施

令和5年度南あわじ市大学連携推進協議会が、8月8日に本学南あわじ志知キャンパスにて開催されました。本学は南あわじ市と連携協力協定を締結し、地域の課題解決や産業振興等多様な分野において双方の発展を目指しています。今年度は海洋水産生物学科新設に伴い、海洋水産生物学科の堀から学科説明を、地域海洋資源研究会担当の金沢から「灰ワカメ」に関する研究発表を行いました。



南あわじ市大学連携推進協議会の様子

本キャンパスは平成25年4月に開校して以来、南あわじ市民の皆さま、農業団体及び自治会、経済団体等多くの方からのご支援・ご協力を頂いております。水産分野が加わったことで、より多方面から地域課題へ向き合い、地域の発展に寄与できたらと思います。引き続き、よろしくお願ひいたします。

☎同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700